



田所 良夫 議員(新風)

質問方式
一問一答
第2次佐野市総合計画
前期基本計画(助け合い
生きがいを実感できる
まちづくり)について

Q 平成30年度老人クラブ新入会員者数、これは入会奨励金対象者であるが、クラブ数はどれくらいで、新入会員者数上位ベストファイブはどのようになっているのか。

また、30年度のクラブ数と会員数の増減を伺いたい。

A 健康医療部長

新入会員者数は258人、新入会員者があったクラブ数は40クラブで、最も会員数がふえたクラブは、旗川地区で29人、2番目が赤見地区で27人、3番目が犬伏地区で17人、4番目が赤見地区で14人、5番目が佐野地区の1クラブ、田沼地区の2クラブで、それぞれ11人です。

平成30年4月1日現在のクラブ数は112、会員数は4,327人で、平成29年度との比較では、4クラブの減、会員数292人の減となり、加入促進

その他の質問

☆県道山形寺岡線の進捗状況について
☆第2次佐野市総合計画前期基本計画歴史・文化を守り育てるまちづくりについて

奨励金事業による平成30年度中の増加分を加えても、会員数は34人の減となっています。



小倉 健一 議員

質問方式
一問一答
太陽光発電設備の安全管理について

Q 今後起こり得る状況として、太陽光発電事業終了後の適正な処分を促す取り組みについてはどのように考えているのか、伺いたい。

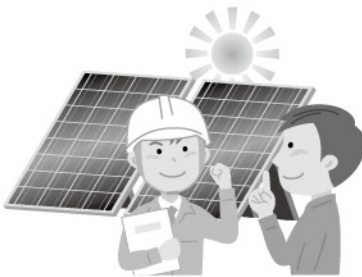
A 市民生活部長

本市の条例においては、発電事業終了後の設備の撤去や処分、事業区域の回復について、事業者や土地所有者などの義務を定めています。

発電事業終了後、事業者が設備を放置することによる事故等を防止するため、条例の趣旨について啓発を行っていきたくと考えています。また、今後発電事業が終了し、設備の撤去や処分等の不適切な事例が発生した場合は、関係機関と連携し、事業者への働きかけを行っていきたくと考えています。

その他の質問

☆鳥獣害対策に関する安全な環境維持について
☆栃木デザインセンターについて



飯田 昌弘 議員(蒼生会)

質問方式
一問一答
安心安全のまちづくりについて

Q 危険な通学路の整備状況として、市道1級2号線久保町踏切、佐野ガス前については、鉄道事業者との協議の中で、踏切の拡幅は市道の拡幅整備計画が前提となり、踏切だけの拡幅は難しいと言われていたが、今後の予定を伺いたい。

A 都市建設部長

市道通学路整備事業で市道1級2号線を始めたとして市内の小中学校より整備要望のあった通学路において、関係者の皆様との点検結果に基づく整備対策案や概算工事費を検討し、登下校の交通安全上の課題解決のための可能な整備方針案を検討しています。その中から、適切な整備対策の概略設計を行い、整備に要する概算事業費等の算出を行っています。

市道1級2号線は、これらの検討結果をもとに整備計画や詳細な道路法線等の計画を行い、鉄道事業者との協議を進めていきます。

その他の質問

☆児童生徒のスマートフォン等の影響について
☆老人クラブ(老人会・敬老会)の今後について



▲久保町踏切